



社会福祉法人 ふきのとう

生活介護事業所 「サントアースⅡ」

天理市柳本町 1516 番地 Tel 0743-66-1516

e-mail [sunearth@fukinotou.or.jp](mailto:suntearth@fukinotou.or.jp)

編集責任者 藤本 悠之

祝！一周年☆ サントアースⅡ便り開始！！

2015年1月から開所しましたサントアースⅡですが、無事に一周年を迎える事が出来ました。たった一年ですが、この一年に多くのことがありました。職員もメンバーも徐々が増え、現在10名のメンバーと6名のスタッフで活動しています。一周年を機に、今回からふきのとう便りとともに「サントアースⅡ便り」を発行することになりました。普段の活動内容や季節ごとの行事などを紹介していこうと思っています。

本年もよろしくお願いいたします。

メンバー紹介

今回紹介するメンバーは、Y・Hさんです(以降、Hさん)。Hさんは絵を描くことが好きで、上手です。個人的に絵を描くこともあれば、サントアースⅡに飾る季節に応じた壁画も描いてくれています。これまでの壁画の一部を紹介します



とても繊細な心の持ち主で、色々な事が不安になりやすい方ですが、その繊細な心ゆえに、素敵な絵が描けるのかなと感じます。絵の題材探しの際は、自然の風景や色に「すごいきれいだなあ〜!」、「え〜!これは抜群だ!」と言って感動している姿は、純粋で素敵な感性だなと感じます。

Hさんは、色々な展示会や作品展にも出展しており、そこで色々な人に自分の作品を見てもらえることが嬉しいようです。10月は奈良市のたんぼぼの家主催の「プライベート美術館」、11月は天理市で行われた「カルガモ障がい者作品展」に出展し、12月は「奈良県障害者作品展」への出展、また「奈良県文化芸術活動支援事業」にて家庭裁判所でも展示されました。さらに「奈良県障害者作品展」では優秀賞に選ばれ、表彰式に出席しました。



Hさんが描いた絵について、スタッフやメンバーは感想をHさんに話し、Hさんもそれに応じて話し、そこにコミュニケーションが生まれます。作品展に出すことで絵を通して社会との接点ができます。

Hさんにとって絵は、人や社会との繋がりになっているように思えます。

旅行(京都水族館)！！(11月26日)

ついにやってきました！恒例の年一回の日帰り旅行！

サントアースⅡはふきのとうとは別の場所に行くことになり、どこに行くのか、何を食べたいのかなどを話し合い、ようやく決まった旅行でした。サントアースⅡは、足が丈夫な人もいれば、車いすの人もいて、キザミ食が必要な人もいて、外出が苦手な人もいます。正直、行くまでは不安でいっぱいでした。

まずは、メルパルク京都内の「レストラン円山」さんで、バイキング。京都らしく「おばんざいバイキング」となっており、和食がメインですごくおいしい料理でした。みんなお腹いっぱいになりました。



メンバーは「色んなものを食べたい」という希望があり、それゆえにバイキングになりました。しかし、バイキングは基本自分で取りに行き、自分で料理をよそう必要があります。サントアースⅡのメンバーの中には、それが難しく、転倒などのリスクを伴う方もいます。職員が介助したとしても、それも限界があります。このバイキングの難しさは、これまでのふきのとうでの旅行でも経験済みでした。

なので、今回、事前に自分たちのテーブルにある程度料理を置いてもらえないかバイキングをしているお店に相談をしました。全部で10件以上は相談したと思います。しかし、多くのお店は対応できないとの返答でした。「他のお客さんの目があるので」や「職員の方で対応してほしい」等言われました。

そんな中、対応できると言って頂いたのが、「レストラン円山」さんでした。ほかにも色々融通を聞いてもらい、すべて丁寧に対応して頂き本当に助かりました。本当にありがとうございました。

次に京都駅でお土産タイム！



最後に、京都水族館へ。大きな水槽の中にはキラキラと光る魚がいっぱい！皆、見惚れるように見ていました。オットセイやペンギン、イルカもいました。楽しく笑顔で過ごせました。



バスの運転手さんも車いすのリフト移動や途中雨に見舞われた時も、自分が濡れることを厭わず、非常に協力的で助かりました。旅行を終えて思ったのは、運転手さんや「レストラン円山」さんなど多くの人の協力があったことです。その協力の中には車いすのメンバーのテンポをメンバーが理解するなど、メンバーとメンバーとの協力、理解もあったと思います。

行く前は不安でいっぱいだった旅行も、終われば皆で楽しめた旅行でした。皆さんの協力があったからこそ、楽しめました。ありがとうございました～！！